



# しずおか愛護

No.30 (平成 29 年 7 月 28 日発行)

静岡県知的障害者福祉協会・広報 発行



## 巻 頭 言

会員施設・事業所の皆様方には、静岡県知的障害者福祉協会の各種の事業へのご支援・ご協力に感謝申し上げます。

昨年度を振り返りますと、基本事業として例年実施させていただいている、オレンジマラソン大会や愛護ギャラリー展、各種の職員研修事業を計画に基づき実施させていただきました。

オレンジマラソン大会は、11月19日に草薙総合運動場で開催し、30回目を迎えることが出来ました。今回からより多くの皆さんがランニングを楽しめるようにと、500mのコースを新設し、1,000m・1,500m・3,000mの4コースを設定して開催しました。残念なことに2年連続で雨天の中での開催となりましたが、140人の選手の皆さんがそれぞれのコースに出場していただきました。この大会は、毎回ボランティアの皆さんのご協力を得て開催できるもので、併せて、職員研修所講座の障がい者スポーツ講座の実技講習の場をも兼ねて開催いたしました。



25回目を迎えた愛護ギャラリー展は、「グランシップ」6階展示ギャラリーを会場に、12月13日の搬入、飾り付け・審査を得て15日から19日まで展示を行いました。今年は300点の展覧を頂きました。この愛護ギャラリー展は、長年障害のある方々の芸術・文化活動に貢献したとお認め頂、公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団の「第6回ふるさと貢献賞」を受賞することが出来ました。200件余の推薦の中から選ばれた17団体・個人の皆様と2月25日に静岡新聞放送会館での表彰式に出席させていただきました。

また、昨年7月26日に発生した、神奈川県相模原市での元施設職員による障害者殺傷事件など、本来障害のある方々の人権を守るべき立場にある施設従事者による障害者虐待が後を絶ちませんでした。障害者殺傷事件を受けて8月3日には外部からの不審者立ち入り対策としての実情を知ってもらうための防犯対策会議を開催していただき、県・県警・正副会長とで意見交換を行いました。この会議での取材記者の多さに、事件の社会に与えた影響の大きさを実感しました。この事件を契機に防犯カメラ等の設置助成が予算化され、協会内事業所にも防犯カメラや防犯用品を設備するところが増えました。

防犯対策や虐待防止・差別解消への活動は啓発活動として行い続ける必要があると考えています。協会としての取り組みは、職員の支援の質を高める直接的な活動と、障害のある方々の様々な活動を通じて障害福祉のあり方を知ってもらう間接的な役割があります。

今年度の動きでは、大きくは社会保障制度の財政面からの見直しや、平成30年度に予定されている報酬改定に向けての調査が進んでいます。昨年度から今年度の各事業所や法人の財務状況が

30年度以降に大きく影響するとされています。

このような外的環境が大きく変化している間にも、内的環境とでもいえる職員の確保・育成、障害の多様化、重度高齢化、生産活動の受注の不安定化なども悪化してきています。これらはひとつの事業所の抱える課題ではなく、全ての事業所に共通する課題です。一つの事業所や法人では解決の方法に限りがありますが、多くの事業所が協力し課題の解決への方法を探り、障害者福祉の今の姿を外部に発信することにより、少しでもより良くしていけるのが団体の良さだと考えています。

今年度も皆様の引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

## 静岡県知的障害者福祉協会 平成29年度 事業計画

### 1 方針

障害のある人すべてが社会の一員として、社会・経済・文化等あらゆる活動に自由に参画できる、障害者差別のない社会の実現を目的とする。その目的を果たすために会員事業所に勤務する職員の確保、定着や資質の向上に努め、利用者に提供する福祉サービスの質と量の向上を図るものとする。

今年度は制度改革や差別解消の視点が重要となると考える。社会福祉法人制度の見直しでは、「社会福祉法等の一部を改正する法律」として平成28年3月31日に交付された。これに伴い各社会福祉法人は新評議員会を組織し、新たな理事・監事の選任、平成28年度決算に基づく社会福祉充実計画の策定と所轄官庁への承認申請が必要となった。障害者総合支援法施行3年後の見直しでは、平成27年12月14日に報告書が公表された。この報告書では関係法律の改正や平成30年度に予定されている障害福祉サービスの次期報酬改定等に向けて、具体的内容について検討を進め、財源を確保することを求めている。今年度はこの改定に向けた検討チームが厚労省内に設置されるなど議論が進められることになる。これらは今後の障害福祉サービスのあり方に直結する動きであり、これに着目した活動が重要となる。

これらの課題とともに、昨年7月に発生した相模原障害者施設殺傷事件は未だその余波が続いており、防犯のみならず障害福祉全般を取り巻く環境が大きく揺れていることを実感する。県内においても事業所内での虐待事件が報道されており、平成28年4月施行の障害者差別解消法への対応とあわせ、人権についての様々な観点からの議論が必要と考える。

### 2 具体的な重要事項

障害のある人が、年齢や個々の障害の内容、程度に応じた、自立に向けての総合的支援が利用でき、地域での生活が可能になるように、発達支援、日中活動支援、生活支援、就労支援、職場定着支援、相談支援、在宅福祉サービスの充実を図るなど、必要な支援を継続して提供できる体制を確保するために、次の項目の研究と協議を行う。

- (1) 障害のある人たちへの人権擁護・差別解消・虐待防止、日常生活及び社会生活の総合的支援、共生社会実現を理念とし、虐待防止についての職階別研修実施など福祉サービスの質の向上や苦情解決制度の適正な運営に努める。
- (2) 職員研修所などの開催する研修や研究活動を推進し、職員の資質向上に努める。更に、計画相談支援や個別支援計画の質を高めるために、相談支援体制の充実を図る。
- (3) 芸術、文化、スポーツ活動への理解と啓発のため、積極的な取組みを図り、これらの活動の実践や成果を記録し広報活動を行う。
- (4) 大規模災害への防災対策、危機管理対策、個人情報保護対策の推進に努める。
- (5) 障害者総合支援法と関連法、障害者の人権擁護に関する各種の法令や障害者差別解消法などに関する研修と情報の提供を行う。
- (6) 社会資源としての役割を果たすために、各地域で策定される障害福祉計画、あるいは設置さ

れている自立支援協議会に専門的サービス提供事業者として必要な提言などを行い、地域の関係機関との連携を重視する。また、これらの提言などの共有化を図る。

- (7) 知的障害者支援サービス提供事業者の団体として、サービス提供体制や制度の研究、会計制度の研修を行い、法令順守の質を高め、さらに経営上の課題を把握し、関係機関、団体との連携を図り、必要な提案、要望を行う。さらに政策委員会活動に積極的に参画し、日本知的障害者福祉協会、東海地区会などに各種の提言を行う。
- (8) 東海地区会が主管（愛知県協会が担当）し、9月27日～29日に名古屋市内で開催される、全国知的障害関係施設職員研究大会愛知大会の企画運営に協力する。【新規】

### 《新規加入施設》（平成29年4月加入）

| 地区 | 設置主体名              | 所在地 | 施設名               | 部会   | 施設長等名           | 定員 |
|----|--------------------|-----|-------------------|------|-----------------|----|
| 東部 | 社会福祉法人<br>見晴学園     | 三島市 | 相談支援事業所<br>ふあいん   | 相談支援 | たかいまさひろ<br>高井昌弘 | -  |
| 中部 | 社会福祉法人<br>富水会      | 藤枝市 | 相談支援事業所<br>する～らいふ | 相談支援 | もりたひろみ<br>森田博己  | -  |
|    | 〃                  | 〃   | 共同生活援助<br>わかたけ    | 地域支援 | ほりいゆか<br>堀井由香   | 7  |
|    | 社会福祉法人<br>ラルシュかなの家 | 静岡市 | かなのすまい            | 地域支援 | よこいけいすけ<br>横井圭介 | 13 |

### 平成29年度 役員名簿

| 役職名 | 氏名    | 施設名                         | 部会                    | 摘要  |
|-----|-------|-----------------------------|-----------------------|---|
| 顧問  | 寺田亮一  | 安倍学園<br>ルーチェ仰陽              | 児童発達支援部会<br>障害者支援施設部会 |   |
| 〃   | 志賀口 弘 | 社会福祉法人 和光会前理事長              |                       |   |
| 会長  | 八谷重之  | 静岡中東遠障害者就業・生活支援<br>センター ラック | 相談支援部会                |   |
| 副会長 | 出水巖生  | 三方原スクエア児童部<br>三方原スクエア成人部    | 児童発達支援部会<br>障害者支援施設部会 | 研修委員会担当<br>児童発達支援部会長                              |
| 〃   | 天良昭彦  | 駿豆学園                        | 障害者支援施設部会             | 事業委員会担当<br>障害者支援施設部会長                             |
| 〃   | 原 邦人  | ミルキーウェイ                     | 日中活動支援部会              | 総務委員会担当<br>日中活動支援部会長                              |
| 〃   | 滝口裕二  | 掛川工房つつじ                     | 生産活動・就労支援部会           | 危機管理・<br>人権擁護委員会担当<br>支援スタッフ委員会担当<br>生産活動・就労支援部会長 |

|    |       |                             |                               |                           |
|----|-------|-----------------------------|-------------------------------|---------------------------|
| 理事 | 吉井桐子  | こども発達センター<br>めばえ            | 児童発達支援部会                      | 栄養部会担当<br>児童発達支援副部会長      |
| 〃  | 袴田章彦  | 四季の郷                        | 障害者支援施設部会                     | 危機管理・災害担当<br>障害者支援施設副部会長  |
| 〃  | 家込久志  | ほっと                         | 日中活動支援部会                      | 人権擁護・虐待防止担当<br>日中活動支援副部会長 |
| 〃  | 日比野 功 | 草笛共同作業所<br>はまおか作業所          | 生産活動・就労支援部会                   | 事務部会担当<br>生産活動・就労支援副部会長   |
| 〃  | 矢代 啓  | オランチ                        | 地域支援部会                        | 保健・医療部会担当<br>地域支援部会長      |
| 〃  | 中村文久  | 障害者就業・生活支援センター<br>さつき       | 相談支援部会                        | 文化担当<br>相談支援部会長           |
| 〃  | 三田充彦  | さしだ希望の里<br>なんぷう館<br>こだま     | 障害者支援施設部会<br>地域支援部会<br>相談支援部会 | 広報担当<br>地区代表（東部）          |
| 〃  | 降矢章治  | ヴィヴァーチェあしくぼ                 | 日中活動支援部会                      | スポーツ担当<br>地区代表（中部）        |
| 〃  | 山下克広  | あかいし学園                      | 障害者支援施設部会                     | 人材養成担当<br>地区代表（西部）        |
| 監事 | 三谷末光  | 一般社団法人静岡県社会就労セ<br>ンター協議会 顧問 |                               |                           |
| 〃  | 古井慶治  | 社会福祉士<br>ふるい後見事務所           |                               |                           |

## 第52回静岡県知的障害者福祉協会大会報告

事務局 青野剛明

第52回静岡県知的障害者福祉協会大会が、平成29年7月13日（木）もくせい会館で開催され、181人の会員と来賓の皆様が参加されました。

三方原スクエアの出水巖生副会長の総司会のもと、滝口副会長の開会のことばで開会しました。大会スローガンは、袋井学園の鶴飼美帆さんと小野 幸さんが先導の発声を行い、参加者全員で唱和しました。

### 大会スローガン

- 1 一人ひとりを尊重した支援を進めよう
- 1 地域福祉の拠点づくりを進めよう
- 1 障がいのある人たちの人権を守ろう

八谷重之会長の主催者挨拶に続いて、顕彰となりました。

今年度は、浜松おもちゃ図書館で永年にわたり障がいのある子ども達に絵本の読みきかせなどを行っている、読みきかせの会「あらら」様に感謝状を贈呈し、続いて、勤続15年を超え、施設職員として職務に精通し、知的障害児者の福祉に寄与された方々21人に表彰の楯が贈られました。



表彰おめでとうございます!

被表彰者名簿（21名）

（順不同、敬称略）

| 氏名    | 施設名                   | 氏名    | 施設名               |
|-------|-----------------------|-------|-------------------|
| 芦澤 佑一 | セルプ・アムール              | 蓮池 永伸 | ワークうしぶせ           |
| 原 鉄男  | さつき学園                 | 奥山 保司 |                   |
| 辻田 剛己 |                       | 中澤 朋恵 | 安倍学園              |
| 木村 悦治 | 駿豆学園                  | 鈴木 清張 | 宋原荘               |
| 野田 幸宏 | 富岳の園                  | 平井美代子 |                   |
| 渡邊 三恵 | 富士市立こども療育センター<br>みはら園 | 藁品 綾子 | 障害者就業・生活支援センターさつき |
| 芦澤さと美 | 富士市立ふじやま学園            | 中野沙由梨 | 静岡市わらしな学園         |
| 近藤 敏和 |                       | 山口 紀枝 | あきは寮              |
| 宮本 佳子 | 富士明成園                 | 太田 守道 | たちばな授産所           |
| 深瀬 正範 | みはらしの丘                | 杉山 昌治 | 恵学園               |
| 齊藤世津子 | ミルキーウェイ               |       |                   |

顕彰終了後、来賓を代表して、静岡県健康福祉部障害者支援局局長 田光祥浩氏、静岡県社会福祉協議会事務局次長 石間啓之氏よりご祝辞をいただきました。



午前の事例報告は、「危機管理に関する状況についてのアンケート結果」と題して、袴田章彦理事から、昨年10月に、①不審者侵入に関わる防犯対策、②震災時に一般避難所では生活できない障害者やその家族の生活支援を行う「福祉避難所」、③職員確保の3点について実施したアンケート結果について報告がありました。

午後の講演では、「知的障害者の成年後見制度」と題して、ふるい後見事務所の古井慶治氏（当協会監事）が、成年後見制度について基本的な内容を大変わかりやすくお話しされ、特に、若い参加者の方々には制度の基本を理解するのに大変役立ったのではないのでしょうか。

最後に、駿豆学園の天良昭彦副会長の閉会の言葉で大会は無事閉会しました。



## 情報提供 種別・専門部会より

### 《 児童発達支援部会 》

児童発達支援部会長  
(三方原スクエア児童部) 出水巖生

5月23日に開催された施設長・主任者合同会議では、まず児童分野における課題に係る県への要望事項について共有を行いました。入所については過齢児の、在園期間の3年間延長措置に対する移行システムの構築、障害児入所施設の運営改善、児童・家庭を支える地域連携、入所児の通園保障、通所に関しては食事提供加算、発達障害児の専門医確保、児童発達支援事業所と関係機関連携、家庭支援の必要性、児童発達支援センターの充実など、各施設との課題共有と地域における推進協力が確認されました。また児童発達支援部門で今年度予定されている、各研修の計画確認も行いましたが、その中で10月14日(土)には、第3回目となる静岡県児童発達支援・子どもフォーラムが、今年度も光真坊浩史先生をお迎えして実施されることとなりましたので、ぜひ多くの方の参加をお願い致します。

7月7日(金)には第5回目となる、福祉型障害児入所施設に係る意見交換会が行われました。県内入所施設の現状を基に、平成30年度より新たに実施される、第1期障害児福祉計画の説明も行われましたが、今年度は計画策定年度になることから、各施設と行政との情報共有を密に行う必要があります。また各施設からの現状と要望も述べられ、特に3年間先延ばしされた措置延長に関して、障害福祉サービスの推進など、県としての施策に対する意見も出されました。今後も施設間の連携と協力を更に深めながら児童分野の充実のために取り組んでいきたいと思っております。

### 《 障害者支援施設部会 》

障害者支援施設部会長  
(駿豆学園) 天良昭彦

障害者支援施設、津久井やまゆり園における殺傷事件から1年が経過しました。この間、個々の施設事情に応じ防犯対策が図られたと思っておりますが、今後も風化させぬよう意識し、継続していただきたいと思っております。

5月23日開催の施設長・主任者合同会議で、秋の部会研究集会について検討しました。開催日は11月27日・28日。当番施設は東部地区で碧の園、会場はホテル沼津キャッスルです。各施設から寄せられたテーマは「高齢化」と「強度行動障害」についてが多く、入所施設の現状が窺えます。発表施設は中部地区が担当し、垂穂察が「高齢化に伴う支援の在り方と課題(仮)」、アクシア藤枝が「強度行動障害者に対する支援について(仮)」発表し分科会を設けます。

また、先頃、国から「福祉サービス等の提供に係る意思決定ガイドライン」が示され、日本知的

障害者福祉協会からは、「知的障害者の意思決定支援ガイドブック」が発刊されました。日々の生活を支える入所施設では、全ての場面で意思決定支援の視点が重要であるため、研究集会では意思決定支援に関する講師をお招きすべく現在調整中です。

施設長分科会では、過日実施された、強度行動障害支援者養成研修に関するアンケート調査結果を中心に意見・情報交換を行いたいと考えています。

なお、障害者支援施設部会全国大会は高知県において平成30年1月29日・30日に開催されますので、こちらにも参加についてご検討下さい。

## 《 日中活動支援部会 》

日中活動支援部会長  
(ミルキーウェイ)原 邦人

今年度、平成30年度の報酬改定及び制度改正の最終的な検討が行われます。皆様もご承知のことと思いますが、今回の報酬改定では、基本単価及び各種加算、特に食事提供加算の廃止といった見直しが行われます。また、制度改正では、「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが主な柱とされ、既に実施された介護保険法等の一部改正により、「共生型サービス」が新たに創設されることになりました。今後は、介護保険事業所による障害福祉サービスの提供ができるように、総合支援法も改正されていきます。このような中で、私たちが行っている「生活介護を主とする日中活動支援」と「共生型サービス」は、何が同じで、何が違うのか。具体的な内容が提示されない中で議論することは難しいことですが、今後その詳細が明らかになる中で、皆さんと議論を深めていきたいと思えます。

今年度、協会の日中活動支援部会研究集会を、11月10日(金)～11月11日(土)に開催します。また、全国の日中活動支援部会の全国大会が、12月12日(火)～13日(水)に東京有明において開催されます。多くの皆さんと情報を共有し、多くの議論を交わすなか、「日中活動支援」の在り方を再確認していけたらと思えます。研修会等皆様の参加をお持ちしています。

## 《 生産活動・就労支援部会 》

生産活動・就労支援部会長  
(掛川工房つづじ)滝口 裕二

障害がある方の地域生活の実現・充実に向けた取り組みとして、各施設では「工賃向上」を目標に掲げている中、障害の多様化、重度化、高齢化と、単純に作業支援にとどまらず、地域生活に関連した生活支援がとて重要となってきています。日中活動である就労継続支援は、「働く」という場所から「暮らす」という、環境設定をも含めた基盤構築が必要不可欠ではあります。その意味では、食事提供加算における昼食提供は、バランスある栄養摂取と生活リズムを整えるという事や、自己負担の軽減が、とても生活の安定に繋がっています。もしこのまま一律に経過措置の廃止ということとなれば、生活保護や低所得の利用者への生活に大きく影響してきます。平成30年の報酬改定の方向性によっては、様々な問題が生じてくると思われる為、今後の動きには目が離せません。

平成29年度は、昨年の岐阜県たんぼ福祉会への視察研修企画に続き、全国就労部会の物産展兵庫県大会への研修を企画しています。同じ協会の施設であり地域性や規模は違えども他県の施設の様子を実際に見て見聞を高めたいと思えます。

11月15～16日の部会研究集会では、中央情勢の情報交換や全国物産展の報告、また、「生産活動と就労支援における課題と分析」をテーマとして、各施設における職業指導員・生活支援員の質の向上と、施設同士の交流・連携を図ります。今年もまた、準備の段階から閉会まで、皆さんで作りに上げる研究集会とし、有意義な研究集会でしたと思えるようにしたいと思います。

## 《 地域支援部会 》

地域支援部会長  
(オランチ) 矢代 啓

5月23日に開かれた部会会議(11法人14名参加)にて、今年度の部会研修会のテーマについて検討しました。テーマとしては、医療ケア等を含めた、高齢障害者への対応についての意見が多くあげられました。現状と課題の情報交換を行い、どのように向き合っていくか検討していきたいと思えます。より多くの皆様が参加し、研修を盛り上げる事が出来るような取組みを目指していこうと話しがまとまりました。

また、年々参加者が減少傾向にある知的障害者ふれあい交歓会についても議論をしました。意見として、一般就労している方々の多くは高齢になってきていることもあり、現役を退いている方が多く出てきているという現状。また、内容のマンネリ化や参加者の重度化、高齢化してきている中での、交歓会自体のあり方の再検討などの有意義な意見や提案がなされました。今後、各事業所へアンケートをとり実態把握、意見等を募っていきたくと思えます。例えば、グループワーク形式でそれぞれが夢を語りあい、夢の実現に向けてどうすれば良いか?先輩方の意見を聞きながら考え、あわせて友情の和を深める場としても活用していけるような場の提供など。

今年度、研究集会ならびに、ふれあい交歓会においても多くの皆様に参加していただけるような熱のある企画にしていきたいと思えます。

## 《 相談支援部会 》

相談支援部会長 中村 文久  
(障害者就業・生活支援センターさつき)

5月23日に東、中、西部各圏域から特定相談支援、なかぼつセンター(3か所)、市町委託相談支援事業所に集まいただきました。

各圏域での課題をそれぞれ出していただき、情報共有するとともに対応について意見交換を行いました。

特定相談支援に関しては以前から言われていることですが、事業所数が絶対的に少なく1人の相談支援専門員にかかる負担が非常に大きいとの問題が挙げられました。

各圏域ともほぼ共通の問題です。事業所数だけでなく従事する相談支援専門員も少ないため、このままだと疲弊からバーンアウト、離職へと繋がるおそれが懸念されます。実際にある事業所では、相談支援専門員が退職したため現場が混乱しているとの報告もありました。各市町もこの点が課題であることは認識していますが、事業所数は増加していません。増えていない理由として報酬が低いことも挙げられました。これも以前からの課題です。

特定事業所加算も該当する事業所は非常に少なく解決策になっていないようです。また、圏域によっては、「行動援護」「同行援護」サービスが少なく計画立案に苦勞しているとの意見がありました。

このような環境の中でも各圏域では、相談支援専門員同士のつながり=自立支援協議会の部会や地域での勉強会に参加し研鑽を積んでいる相談員が多く、個々の意識レベルの高さを感じました。



平成 29 年度 静岡県知的障害者福祉協会職員研修所講座 案内

| 講座名        | 回数  | 開講日           | 会 場                        |             | 講師   |
|------------|-----|---------------|----------------------------|-------------|--|
| 心理学講座      | 3 回 | 7 月 3 日 (月)   | 静岡県総合社会福祉会館<br>6 階 601 会議室 |             | 福永 博文氏<br>浜松学院大学短期大学部<br>名誉教授<br>専門行動療法士 臨床心理士   |
|            |     | 7 月 18 日 (火)  |                            |             |  |
|            |     | 7 月 24 日 (月)  |                            |             |  |
| 絵画療法講座     | 3 回 | 7 月 11 日 (火)  | 社会福祉法人みはらし学園               |             | 落合 英男氏<br>気のいい羊達顧問                               |
|            |     | 7 月 27 日 (木)  |                            |             |  |
|            |     | 9 月 6 日 (水)   |                            |             |  |
| 音楽療法講座     | 3 回 | 8 月 7 日 (月)   | 男女共同参画センター<br>あざれあ 6 階小ホール |             | 野田 奈津代氏<br>音楽処ベルの木主宰<br>音楽療法士・ヴォイストレーナー          |
|            |     | 8 月 28 日 (月)  |                            |             |  |
|            |     | 8 月 30 日 (水)  |                            |             |  |
| 障がい者スポーツ講座 | 3 回 | 9 月 20 日 (水)  | もくせい会館<br>2 階第 5 会議室       | 集合体育館       | 大塚 康夫氏<br>公認 上級障害者<br>スポーツ指導員                    |
|            |     | 10 月 4 日 (水)  |                            |             |  |
|            |     | 10 月 28 日 (土) | 草薙総合運動場                    |             |  |
| 医療・看護講座    | 3 回 | 7 月 10 日 (月)  | 静岡県総合社会福祉会館                | 6 階 601 会議室 | 山倉 慎二氏<br>社会福祉法人子羊学園<br>重症心身障害児施設つばさ<br>静岡施設長・医師 |
|            |     | 9 月 1 日 (金)   | あざれあ                       | 5 階第 3 会議室  |  |
|            |     | 10 月 6 日 (金)  |                            | 2 階大会議室     |  |
| カウンセリング講座  | 3 回 | 9 月 7 日 (木)   | あざれあ                       |             | 杉本好行氏<br>静岡福祉大学社会福祉学部<br>福祉心理学科 特任教授<br>臨床心理士    |
|            |     | 9 月 14 日 (木)  |                            |             |  |
|            |     | 9 月 21 日 (木)  |                            |             |  |

《編集後記》

九州北部を襲った豪雨被害に始まり、新潟、東北と日本の至る所で、『7 月 1 ヶ月の降雨量以上の降雨量を記録』というような言葉が気象庁から発表されています。一方で真夏日連続〇日等猛暑の報道も毎日です。日本だけでなく、世界のあちらこちらから、同様の報道があります。人類以外の生物から「お前らの責任だろ！何とかしろよ！」というような叫びが聞こえてくるような気がします。

当施設では、7 月に入り、暑さからか、体調を崩す利用者の方が目立っています。会員施設みなさま、職員、利用者の方々ともに体調管理に十分留意して、猛暑を乗り切りましょう。

しずおか愛護No.30 をお届けします。宜しく願い致します。

(広報担当 三田充彦)